



第27回水道施設に関する規格専門委員会（12月20日、21日）

12月20日は、水道用ソフトシール仕切弁（JWWA B 120）の規格改正について、日本水道協会会議室にて第2回目の委員会を開催し、弁体ゴムの耐塩素性試験とその評価方法などについて審議した。

12月21日は、水道用硬質ポリ塩化ビニル管・継手（HIVP、VP）（JWWA K 129・130）（仮称）の規格改正について、第1回目の委員会を開催した。

VP管とHIVP管の規格を統合すること、各種試験方法のJIS規格との整合などについて審議した。

第4回 ISO24500シリーズ JIS 原案作成委員会 上水道分科会（1月11日）

上下水道サービスの国際規格であるISO24500（飲料水及び下水サービスに関する活動）シリーズをJIS規格にするため第4回上水道分科会を1月11日に、日本水道協会会議室にて開催した。

2月8日に日本下水道協会にて開催する第3回JIS原案作成委員会に諮る規格案をとりまとめた。

平成22年度配管設計講習会（北海道会場：1月12日～1月14日、東京会場第2回：1月19日～1月21日）

水道事業体職員及び設計業者の方々、北海道会場47名、東京会場52名の参加を得て、「配管設計のあらまし」、「設計・積算の実務知識」、「製図の基本」、「管路の製図演習」、「管路の積算演習」について研修を実施した。

平成22年度水道施設管理技士資格試験（1月16日）

平成22年度水道（浄水・管路）施設管理技士2級及び1級の資格試験を全国7会場（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市）で実施し、709名が受験した。

水質検査精度に関する調査専門委員会

(1月18日)

登録水質検査機関における水質検査の信頼性を確保するため「水質検査精度に関する調査専門委員会」・通称「検査セイド提案チーム」では、厚生労働省を招いて第7回委員会を開催した。水質検査精度を上げるための特記仕様書や検査等に関する歩掛かりなどを年度内の作成を目的に加速させている。委員会の構成は、清宮佳幸委員長（千葉県水道局）、橘高雷太委員（東京都水道局）、松島亮委員（桐生市水道局）、伊藤睦雄委員（茨城県企業局）。

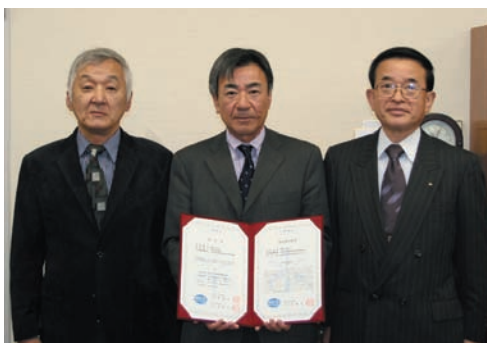


水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定及び認定の更新が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



1月18日
藤吉工業株式会社
(申請番号：JWWA-GLP066)



1月27日
広島市水道局
(認定番号：JWWA-GLP018)

平成22年度水道技術者専門別研修会（水質管理部門）（1月24日～1月28日）

89名の参加を得て「水質概論（衛生管理含む）」「水質管理（原水・浄水）」「水質管理（送・配水）」「精度管理と成績表示」「理化学試験（一般性状・非金属・金属）」「理化学試験（生物試験・微生物試験）」「機器分析（IC、原子吸光、ICP、ICP/MS）」「機器分析（GC、GC/MS、HPLC、LC/MS）」「理化学試験（無機物・有機物）」の研修を実施し、最終日に自由討議を行った。

平成22年度浄水等設備技術実務研修会（第7回：1月25日～1月28日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々20名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第138回水道事業管理者協議会（1月26日）

はじめに、技術士である古賀輝彦氏より「深井戸の汚染対策と耐震化及び構造」と題した講演が行われた。

引き続き、情報交換事項として、①一般会計からの繰入金にかかる協定等の締結について、②一般競争入札における低入札価格による応札状況並びに総合評価落札方式による入札の取組について、③単価契約（工事）の事務手続について、④土地区画整理事業や宅地開発事業等に伴う上水道施設整備の整備基準及び支援制度について、それぞれ意見交換が行われた。

第15回営業業務専門委員会（1月28日）

はじめに、報告事項「法制審議会における民法（債権関係）改正検討の動向」について事務局より報告があった後、議題「営業業務マニュアルの改訂」について審議を行った。

続いて、情報交換事項①「水道料金の減免制度」について、②「委託業務における個人情報等の漏洩防止策」について、③「水道使用中止に伴う閉栓・メーター取外し等の処理」について、それぞれ意見交換を行った。

第894回会誌編集委員会（1月28日）

本誌2月号、3月号の編集方針、投稿原稿の審査並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第54回水道 GLP 認定委員会（1月31日）

水道 GLP 認定について、新規検査機関として佐賀東部水道企業団（申請番号：JWWA-GLP070）、北千葉広域水道企業団（申請番号：JWWA-GLP071）が、更新検査機関として京都市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP019、1月23日付）が、認定維持機関として旭川市水道局（認定番号：JWWA-GLP042）、（財）岡山県健康づくり財団（認定番号：JWWA-GLP043）が、それぞれ審議され決定されました。

平成22年度水道技術者専門別研修会（導・送・配水施設の設計施工と維持管理部門）（1月31日～2月4日）

91名の参加を得て「水運用計画」「導送配水施設の整備」「送配水の耐震化」「管路（導送配水）の設計」「管路の設計演習・施工方法」「施設（構造物）の設計」「送配水施設の維持管理」「漏水防止」について研修を実施した。